

令和2年度第3回知立市総合教育会議議事録

審議日時	令和3年2月10日（水）13：15～14：55			
審議場所	知立市役所 4階 第4会議室			
出席者	市長	教育長	蔭山委員	竹内委員
	宇納委員	太田委員		
事務局	企画部長 教育部長 企画政策課長 学校教育課長 文化課長 企画政策課課長補佐 企画政策課担当			
議題	(1) 児童生徒の読書について (2) その他			
企画部長	定刻となりましたので、只今より令和2年度第3回知立市総合教育会議を開催します。 本日の議題は「児童生徒の読書について」です。 それでは、議事の取り回し等は、知立市総合教育会議設置要綱第4条第1項において、市長が議長となり、議事を総理するとありますので、市長にお願いします。よろしくお願いいたします。			
議長（市長）	本日は、会議に先立ち、野外彫刻プロムナード20周年記念展についてお話させていただきます。これは、知立市文化会館のパティオ池鯉鮒のエントランスロードで開催されており、プロムナードに彫刻を展示するものです。始めてから今年で20周年となりました。2月9日から開催され、明日のセレモニーには大村知事にもお越しいただく予定です。こうした取組は、愛知県下でも非常に珍しく、宇納先生には当初から大変お世話になっております。知立の一つの名物となってきており、これからも続けていただきたいという想いでおります。ぜひお越しいただけたらと思います。 それでは、次第に沿って、議事を進めたいと思います。 本日の議題は、「児童生徒の読書について」です。知立市子ども読書活動推進計画を新たに改正・策定をしていくにあたり、アンケートをとらせていただきました。このアンケート結果について、委員の皆さまにお示しさせていただき、忌憚のないご意見をいただくことで、より児童生徒が読書に親しむ環境を作っていきたいと考えております。 それでは、担当課より議題についてご説明願います。			
文化課長	（第3次知立市子ども読書活動推進計画におけるアンケートについて、資料に沿って説明）			
議長（市長）	ありがとうございます。只今、文化課長より議題についてご説明させていただきました。委員の皆様、ご意見等はございますか。			

<p>蔭山委員</p>	<p>お願いします。アンケートをとってデータに基づき計画を立てることはとても大事だと思います。ただ、気をつけないといけないことは、調査した 2020 年は日常的ではないということです。専門家としては、この非日常的なデータと 5 年前の調査時のデータとは、そもそも比べられないと思われ、今回のデータを平常時と変わらないデータと捉えるのは適切ではないと思います。したがって、この 2020 年の調査をどのように修正して捉えるかということが必要になります。</p> <p>もし比較するのであれば、「非常に非日常的な時期の調査ではあるものの、こういう理由があるため比較していいと思われる」という考えが必要だと思います。その考えがないまま比較したとしても、コロナの影響を阻害することができません。したがって、そういった考え・整理がないまま、計画を立てることには疑問を感じます。</p> <p>この点についてはいかがでしょうか。</p>
<p>文化課長</p>	<p>今回計画を作るにあたって、通常でしたらもう少し早くアンケート調査をする予定でしたが、学校がまだ休校中でした。アンケートの実施には迷うところもありましたが、現計画の期限が切れるということもございましたので、調査させていただくことにしました。</p> <p>今回の計画には、コロナの影響について注釈を入れさせていただいておりますが、やはり 2 次と 3 次の比較については、蔭山先生がおっしゃるとおり若干乱暴な部分があります。そのため、今後中間の調査にて推移を見ながら修正をさせていただきたいと思っております。ただ、それを踏まえても、読書率が下がっているという事実については否めないと感じております。</p>
<p>蔭山委員</p>	<p>読書率が下がっているという根拠は、どこにあるのでしょうか。</p>
<p>文化課長</p>	<p>前回調査と愛知県の調査結果とを比較したことによります。</p>
<p>蔭山委員</p>	<p>それでは今回知立市の実施した調査の役割が分からなくなってしまいます。コロナの影響を除いても下がっているという根拠は示せていないと思います。コロナの影響はあまりないだろうという主観が入ると、正しい測定が難しくなります。そのような姿勢には問題があります。</p> <p>たしかに 5 月の調査が難しかったのは分かります。したがって、方針を出すのはもう一年見てからとか、今回測定した数字にはほとんど信用が置けません等、言及すればいいと思います。しかし、何の言及なく、きちんとしたデータに基づいた分析のようにおっしゃっていることについては問題があると思います。知立市の読書計画を作る上で、それはやめてほしいと考えています。前提を崩すようで申し訳ありませんが、他の市町のデータでもそういった指摘はしてきています。</p>
<p>議長（市長）</p>	<p>ありがとうございます。この点、教育部長はいかがでしょう。</p>

<p>教育部長</p>	<p>今回この計画を立てるにあたり、アンケートを学校側にお願いすることに大変迷いはありました。学校が再開された後も日常は戻ってきてはおりませんでした。読書に親しむという観点でアンケートをお願いした次第です。考察が足りないとの蔭山先生のご意見をいただき、大変反省しております。学校が平常な状態になりましたら、もう一度アンケートをとって、そこの部分の考察も入れていくべきだと考えております。</p>
<p>蔭山委員</p>	<p>お考えいただけたらと思います。</p> <p>もう一点よろしいでしょうか。他の市町でも申し上げた意見ですが、アンケートは児童生徒だけを対象にしていますが、子どもの読書活動には大人の影響があると思います。大人が本を読まなくなってしまったから、子どもも読まなくなってしまったという可能性もあります。したがって、今後の調査では、大人の読書活動あるいは親が“子どもが本を読むこと”について、どのような態度をとっているかという点を押さえないといけないと思います。やはり変動する要因や何が効果があるのかということ調査時には考える必要があると思います。私は読書活動の調査ならば、親の読書行動と親が持っている子どもへの読書態度の測定が必要だと思います。あくまで主観的な意見になりますが、電子書籍の導入より親の態度が影響していると思います。読書の重要性を分かっている家庭の子どもは読書好きになる一方で、読書に無関心な親の家庭の子どもは読書嫌いになるということが分かれば、PTAでの保護者の指導につながると思います。</p> <p>今回の調査は全般的に子どもが本を読まなくなっているという報告でした。しかし、これでは次にどうしたらよいか何も出てきません。せつかく調査をするのなら次に寄与するような調査にしてほしいと思います。今回の調査はあくまで実態調査です。実態調査からは関与する要因が分からないため、どうしたらよいかは出てきません。関与すると考えられる要因を加えて、調査する必要があると思います。</p>
<p>議長（市長）</p>	<p>ありがとうございます。親に対するアンケートは私も大事だと思います。その点はいかがでしょうか。</p>
<p>文化課長</p>	<p>今回は学校側に依頼して調査を実施しましたが、どのように調査するかについて今後検討していきたいと思います。</p>
<p>議長（市長）</p>	<p>アンケート結果は、第2次・第3次・愛知県とありますが、愛知県もこういう内容でアンケートしているという理解でよろしいのですね。それでしたら、愛知県にまた機会を見つけて、総合教育会議でこのような話が出たので、愛知県全体として、親の動向を調査項目に入れてもらえるように言ってもらいたいと思います。</p>
<p>蔭山委員</p>	<p>また、大学生も読書率は減っていると思います。大学生は論文を書くために必要な本を読むというのはありますが、それ以外の読書は減っていると思います。読書活動は世の中全般の変化に影響を受けていると思われます。宇納先生、いかがでしょうか。</p>

<p>宇納委員</p>	<p>蔭山先生が言われたことは、13 ページの「アンケートからの考察」で、子どもの生活環境がコロナの影響で、こういった状況ということが書かれています。コロナ禍でこのような数値だということを押さえておくことは必要だと思いますので、決して無駄ではないと私は思います。</p> <p>先ほどの親御さんへのヒアリングという観点はもちろん大事だと思いますが、私は、本を読むことをひとまとめにしてしまっていることに疑問を感じます。本との出会いによって何がどのように影響を受けるかということが、私は重要だと思います。ただ本を読めばいいということではなく、たとえば本を読んで自分の将来に対しての指針になった、その出会いによって自分の考え方を見直すきっかけになった等、本自体の質や子どもたち一人一人にとっての出会いを捉えるということが、難しいところではありますが一番大事だと思います。単に数値を県と比較して高い・低いと判断するよりも、知立市ではこういうふう子どもたちを将来に向けて育てていくのだ、そのためにこういう本や情報が必要なのだという姿勢が必要だと思います。単なる読書率だけで判断しない方がいいと思います。もしも今後調査をしていくのならば、そういった点についてぜひ加味していただきたいと思います。</p> <p>また、小中学校の司書教諭活動計画を読むと、様々な工夫をされています。子どもたちに少しでも出会いをとという考えから、いろいろな本を整備しているのではないかと思います。そういった動きに対して、市としてどのようにこれからより予算化をしていくかという方に重点を持っていてもらえたらと思います。たとえば、私も時々行きますが、知立市には図書館や中央公民館に図書室があります。図書館には子どもコーナーがある一方、公民館の図書室にはあまり子ども向けの本がないと思います。社会教育関係のためだからとは思いますが、もう少し小中学生が見るようなコーナーを作るのがいいと思います。また、子どもの興味を引く本として、子ども向けの雑誌や漫画があります。私は漫画も馬鹿にしてはいけないと思います。漫画には教育的に良い影響を与えるものもありますので、子どもに対して漫画文化を広めていってもいいと思います。</p>
<p>議長（市長）</p>	<p>ありがとうございます。漫画については現状どうなっていますか。</p>
<p>文化課長</p>	<p>漫画という分類では置いていません。図鑑や子ども向けの本に載っていることはありますが、世間一般でいう漫画は置いておりません。</p>
<p>議長（市長）</p>	<p>たとえば、人気のある「鬼滅の刃」を全巻置くようなことですかね。</p>
<p>宇納委員</p>	<p>聞いた話ですが、「鬼滅の刃」は最後に泣けるとのことです。漫画の内容が抜粋され映画化もされていますが、それを観ても泣けるということなので、漫画ではもっと泣けるのではと思います。</p> <p>私たちの時代では心に訴えるものは、ラジオでした。音や映像から感動したものがあったことを思うと、読書で静かに読むということもよいですが、映画も含めてより子どもたちに提供してもいいのではと思います。ただ、一番注意しなければならないのは、</p>

	<p>子ども向けのラインです。映画の場合、映倫がありますが、気をつけなければいけない点が何かということが曖昧になっていると思われま。その点についても学校教育の方でも検討されているとは思いますが、そういうものをきちんと押さえた上で、子どもたちに提供していく必要があると思います。</p>
議長（市長）	<p>ありがとうございます。一度漫画を置くことも検討するのもいいですね。教育長、いかがでしょうか。</p>
教育長	<p>学校図書はある程度定められており、その中から学校図書推進員や司書教諭が選びます。漫画自体というより内容が大切になります。ここで言う読書というのは、家庭の読書も含まれますので、議論の土台を整理する必要があるかと思。また、読書と言うと、もう昔は書物しかなかったのですが、今は電子図書も含まれますし、今の子どもたちはネット上ですぐに情報を得られます。1冊読むというより、「始めに」とか「あらすじ」を読んで終わってしまう等、様々な読み方が出てきています。読書というのが以前からの書物と電子図書とに限られているので、そのあたりの数値の捉え方が難しいところです。国の方でも子ども読書活動推進法等、様々な法律で進められていますので、パーセンテージだけ見てどうしていくのかという判断は難しいと思います。蔭山先生のおっしゃるとおり、この数値だけを見て判断していいのかというのは考えなければいけないと思います。</p>
議長（市長）	<p>ありがとうございます。学校教育をはじめ、社会教育という視点から、図書館はハードルが高いと思っている子どもたちに読書に親しんでもらうという意味で、漫画はいいなと思いました。ただ、内容が大切になるというのは、たしかにそうですね。</p>
蔭山委員	<p>本は、昔は必要な情報を入手する手段でしたが、今は携帯を見れば知りたいことは何でも手に入る時代です。我々の時代は、たとえば歴史を勉強したかったら本を読まないと分かりませんでした。今は歴史や化学、人との付き合い方であろうと、何でも詳しい情報は検索すれば出てきます。この中で読書をどう考えるのが重要だと思います。やはり日本は、明治から読書によって人間性を育てるという発想があったと思います。読書は、文字面だけでなく、行間にある中身をイメージすることが大事だと言われてきました。映像のように一方的に受け止めさせられるだけではない活動だと思います。どんなに情報源が豊かになっても、必要な読書活動はあると思います。そこを明確にしないといけません。本には、人間形成に影響を与えるものもあります。私自身、高校時代に本当に自分を考えさせられるような本に出会いました。そのような自分の進路に影響を与えた本はたくさんある訳ではないですが、読書をするということは、そういう機会を得るためとも考えられるでしょう。単に本をたくさん読めばいいと一概には言えません。そこに読書を調査する難しさがあります。調査において、すぐに測れるところだけを測っていても限界があります。調査を工夫したり、専門家に入ってもらって、こういうことを測りたいのだと検討していただけたら、もっと意味のある調査になると</p>

議長（市長）	<p>思います。もちろんこの県の調査項目を設定した委員会の中にも専門家はおられるのだとは思っています。</p> <p>この調査項目は愛知県が示しているものということですよ。知立市独自の項目で調査をすればいいのかもしれないね。</p>
蔭山委員	<p>愛知県の項目だとしても、そのまま倣うのではなく、独自に検討する必要はあると思います。県がやっていることが市町より優れているとは決して言えません。県の検討が十分でないこともあります。したがって、知立市で予算をかけてやるのであれば、県に倣うのではなく、知立市独自で目的と考えをしっかりと整理してやっていくことが大事だと思います。文科省から示されたことでも十分でないことはあります。文科省は国の政策上の影響を受けます。子どもたちの教育について、単に政策上だけで考えるのではなく、市町において大事なことを考えた方が私はいいと思います。そういう意味で、県でやってないから、市町もやらなくていいとは思いません。市町だからこそやれることがあります。知立市の規模だから出てくる調査結果やプランもあるでしょう。私は大きい自治体の委員もしておりますが、規模が大きくなると全てが揃うことは難しいです。そういう意味では、知立市は教育のロマンを実現させていくためにとてもいい規模だと思っています。</p>
議長（市長）	<p>ありがとうございます。私もそういった想いもあり、この議題を挙げさせていただきました。今日せっかく良いご意見をいただいておりますので、総合教育会議の中で知立市らしい項目を検討していただいて、知立らしい計画を作るのもいいのではないかと思います。たとえば、漫画のご意見も出ましたので、漫画を図書館に入れるような基準を決める項目等があると、知立らしいものができると思います。今回の調査は、愛知県全体と比較した知立市の現状を把握できるので有用な資料かと思います。しかし、蔭山委員がおっしゃるように、愛知県の指標が必ずしもいいとは言えないので、もし担当課がやろうって言うてくだされば、計画を1年先送りするのもいいのではないかと思います。</p> <p>計画としてそれは可能でしょうか。県に報告しなければいけない等がありますか。</p>
文化課長	<p>作ったか作っていないかの調査はあり、県へ報告はします。ただ、前回の計画期間が切れるため調査をしており、計画を作っていないからと言って、補助金等がなくなるといった話ではありません。</p>
蔭山委員	<p>コロナの影響を指摘しましたが、コロナは心に与える影響がとても大きいので、その要因を無視することはできないと思います。非常に大きなダメージを市民は受けていると考えるべきだと思います。</p>
議長（市長）	<p>先ほどお話があったように、保護者や高校生、大学生の意見も拾えるような知立らし</p>

	<p>いアンケートを作れば、それが愛知県の基準になっていくかもしれないと思います。この点、教育部長いかがでしょうか。</p>
<p>教育部長</p>	<p>今回の計画について補助金等は特にありません。こういった計画を各自治体作りましょうという愛知県からの指導まではいかない指針に従ったものです。先ほどご意見いただいたように、知立市独自で今後数年の間に、愛知県のアンケートに追加する形で実施することもいいのではと考えております。</p>
<p>宇納委員</p>	<p>よろしいでしょうか。このアンケートとは少し話が異なりますが、他自治体の新しい図書館は、複合施設になっていることがあります。たとえば、図書館に付随して障がい者の方が運営する食堂のようなサロンがあったりします。さらに、民営では喫茶店スペースで無料で新聞を読むことができ、読み終わったらまた違うものに替えることができるところがあり、すごく流行っています。普通だったら買ってもらうという発想だと思いますが、そうではなく、本当に欲しいものを手に入れるような環境づくりをしています。富山の図書館は、美術館や食事をするスペースがあり、非常に近代的でモダンな建物づくりをしています。知立の図書館はそういった観点からは少々離れていますので、図書館のあり方自体もこれから考え方を変えていくことが必要なのではないかと思います。もっと人が集まるような発想があってもいいと思います。そういった意味では、アンケートに環境という話は出てきていません。今度アンケートを作る際は、どんな図書館がいいかという項目もあった方がいいかと思います。</p>
<p>議長（市長）</p>	<p>ありがとうございます。 他にはいかがでしょうか。</p>
<p>太田委員</p>	<p>お願いします。蔭山先生もおっしゃっていましたが、このアンケートを見たときに大人の影響は考えないのかなと思いました。家に本がたくさんあるところで育つ子と、全くないところで育つ子とでは、本に親しむ環境が全く違います。親が本を読む習慣があると、「この本は面白かったよ」というやりとりが自然と家庭の中にあると思いますが、全くそのようなやりとりがないと、読みたい本や面白い本の情報がないということになります。大人の読書習慣についてアンケートを取るのには、子どもの読書習慣をつけるために有効ではないかと考えております。</p> <p>私自身、声に出して読むことがすごく好きだったので、自分の子どもが小さいときは毎日声に出して読んでいました。その頃は、図書館に通ったりもしていました。子どもが小学校に入ってから、学校での読書週間の取組で本を読む習慣をすごくつけさせていただいたなと感じています。そのときの子どもは、どんな本を読んでどんな影響を受けたかというより、何冊読んだかということが大事で、友達と競い合うように本を読み、楽しんでいました。自分の子だけでなく、周りの子どもを見ていると、みんなそのように感じられ、今私が勤務をしている小学校でも、やはり子どもたちは何冊読むかということを楽しみに読んで印象を受けます。</p>

中学校に入ると、今度は朝の読書活動という時間があります。小学校の頃の多読のおかげで、中学校では読みたい本を選ぶ力がついていったように感じます。

量を読むと、選ぶ力がつくのではないかと思います。どんな本が自分にプラスを与えてくれるのか選べる力がつくのを感じています。量だけを求めるのであれば、本を借りると銀行の通帳のようにプラスされていく読書通帳のような楽しいシステムがかりがね小学校にあります。安城市のアンフォーレでも読書通帳はあるようです。また、大府市の図書館はこの近辺ではとても利用率が高く、有名とのことなので、そちらでどのような活動をされているか研究されるのもいいと思います。

やはり読書の目的は、本を読むことを通じて内面的に豊かになるということなので、アンケートを作る際には、まずはそこを目的にした上で、どのようなアンケートを作ったらいいかを考えるのがよいのかなと感じました。以上です。

蔭山委員

よろしいでしょうか。学校教育で読書をどのように捉えているのかが見えづらいので教えていただきたいです。親の影響についてお話ししましたが、教師が児童生徒にどのような読書をさせようと考えているのかという教師の影響もあると思います。私は大学で30～40年指導していましたが、年々学生が本を教えてくださいという声が増えてきたように感じます。私の講義に必要な本は限られていますが、そのような要望があれば、私の講義には関係しないがこの本はいいよと指導ができる機会があります。子どもたちの話を聞いていると、学校で本を読みなさいと言われるが、この本は面白いよと担任から言われた、という話はあまり聞いたことがありません。このような経緯から、知立市の読書指導はどのようになされているのかが気になりました。

学校教育課長

国語科において、小学校では低・中・高学年の段階ごとに指導を行っています。言葉の持つ良さや強さを感じる、認識する、気付くとともに、主に低学年では楽しんで読書をすることを目標にしているかと思います。次に、中学年では幅広く読書を楽しむことを、高学年では進んで読書をするということを目指しているかと思います。

今蔭山先生がおっしゃったように、学校によっては、先生同士が自分の読んだ本を自主的に紹介し、それを基に子どもたちに紹介するような取組を試みている学校もあります。

学校で多少温度差があるかもしれませんが、良いと思う本を子どもたちに紹介したり、放送で図書推進の方がご紹介したり、本の紹介コーナーを廊下に設ける等、子どもたちの目に留まるような工夫は行っています。

教育長

付け加えますと、学習指導要領が改訂され、言語活動が重要視されたことに伴い、とりわけ国語では、読書や本に親しむということがカリキュラム上に位置づけられています。

また、学校図書館教育というものがあります。これは、教科書以外で図書館をどう利用するかということをお勉強します。たとえば、社会科の資料の紹介等にも利用しています。

<p>蔭山委員</p>	<p>やはり意味ある読書を進めていくために、子どもが本を読まないと言っているだけではいけません。保護者、教師一体となって進めていかないと、日本の子どもの人格形成はどうになってしまうのかという心配があります。PTAを含めて、検討していただくと何か成果が上がるのではないかと思います。子どもたちは柔軟性に富んでいますので、指導の方向性次第でずいぶんと変わってきます。知立市の子どもは読書好きでいろいろな本をよく読んでいるという姿になってほしいと思います。</p>
<p>太田委員</p>	<p>学校は本当によく働きかけてくれているなというのが、保護者の印象です。この本は良かったよと子ども同士が紹介し合うシステムも作ってくださっています。先日知立南中に伺ったときは、先生方による、私も借りたくなるような本の紹介の掲示がありました。他にも、知立中学校の先生方は、先生方が読んだ本の良かった点や感想を、朝の時間に紹介しています。学校は本当に子どもがなるべく本に親しむように、働きかけてくださっているなど、とても感じます。</p>
<p>竹内委員</p>	<p>学校にしても、文化課にしても、ブックスタートという形で、小さい頃から読書に親しめるような環境を作ってくれていると思います。特に未就学等の低学年は、どういう本がいい、悪いというのは、なかなか選択できません。中学生くらいになってくれば分かると思うのですが、なかなか低学年には本の選択も感想を伝え合うことも難しいと思います。</p> <p>そこで、親の方から、環境を作ってあげることが大事だと思います。なおかつ学校で先生のやり方にもよりますが、先生がこういう本がいい、ためになるというように伝えるような環境を、教室全体に作っていくことがいいと思います。</p> <p>ただ、アンケートを見ると、それでもやはり読まない子はいるので、読書習慣等を強く進めてもらうのがいいと思います。読書する環境づくりは、周りが進めていかなければいけないのではと思います。</p> <p>もう一つですが、先ほど漫画という話が出ましたが、鬼滅の刃には、残忍なシーンも出てきますので、低学年の教育的には少々怖い面もあるので、図書館にはふさわしくないのではないかと思います。また、多くの巻数が出ていますので、図書館の容量もいっぱいになってしまうのではないかと思います。漫画は、漫画喫茶等に行ってもらって読んだ方がいいのではないかと思います。</p> <p>先生も大変な中ですが努力していただいて、親ももう少し本を読む環境を作るため、テレビゲーム等から、本に子どもの目を向けさせることが必要なのではないかと思います。</p>
<p>議長（市長）</p>	<p>ありがとうございます。鬼滅の刃のような漫画は学校教育的には適さないのでしょうか。教育長はどう思われますか。</p>
<p>教育長</p>	<p>残忍な場面があるので、個人的には入れない方がいいと思います。</p>

<p>蔭山委員</p>	<p>読書について国際的なデータはないのでしょうかね。日本だけの問題ではないように思います。</p>
<p>教育長</p>	<p>読書というものの定義づけがやはり難しいと思います。以前のように、活字からしか情報が得られない時代から、映画、動画等、情報源は増えてきています。映画を観ても感性は豊かになります。音楽や芸術、美術に触れることでも感性は育っていきます。読書しないから感性が豊かになっていないかというところではなく、別な問題だと思えます。また、知識理解についても、やっぱり図鑑で見るというより、やはり動画を見た方が分かりやすいので、本と比べても優位性があります。やはりこれらの数値を読み取っていかないといけないと思います。</p>
<p>蔭山委員</p>	<p>狭い知立、日本の規模で考えるのではなく、世界規模のデータがあれば、考えられる手掛かりがあるのではないかと思います。ただ、私も国際的なデータを見たことがないので、もしかすると日本だけ推奨しているのかと思えました。推奨していない国は、子どもがどう育っているのだろうと疑問に思いました。それこそ、イギリスやアメリカではどのようにしているのか気になりました。</p>
<p>議長（市長）</p>	<p>先ほど太田委員が言われたように、子どもは読んだ冊数を競うという話がありました。私も小さい頃に学校の本を何冊読むか競い合ったことがあります。その経験から、やはり量を読まないことには、良い本に巡り合わない気がします。人にいくら勧められても、あなたにはいいかもしれないけど私には合わないことも結構あります。そのため、量をとにかく読んで、分母をたくさん作ることは大切だと思います。</p> <p>そのために、やはり竹内委員がおっしゃられたように、読書週間等でシステム化や徹底をしていくことが大切だと思えました。家庭にももちろん応援してもらわないといけないのですが、保護者にはやはりいろいろな方がいらっしゃるの、学校というのが一つの基盤になってくると思います。</p> <p>体の健康は、学校給食で、貧富の差や格差なく栄養が摂れますが、心の栄養では、やはり読書は基本にあると思います。読書環境のない家庭もありますので、ある程度義務教育の中で揃えてあげなければいけないという想いはあります。教育の中でベースを築くことで、大人になって良い本を捕まえていくことにつながると思います。</p> <p>また、私がこの議題を提示させていただくにあたり、気になっていたこととして、以前は小中学校で朝の読書タイムがあったと思います。太田委員には学校はよくやったださっているとおっしゃっていただきましたが、本当に10校全てやったださっているのかは気になります。学校によって温度差があり、読書の代わりに違うことをしている学校もあるかもしれません。読書の代わりに活動でもいいかもしれませんが、私はやはり心の栄養という視点で読書が重要だと考えていますので、踏み込んでお取り組みいただきたいなと思っています。アンケートを見ている、コロナの影響はあったとしても、県と比べると、芳しくない結果になってきている印象を受けます。</p>

	その点について、教育長はいかがでしょう。
教育長	<p>朝に読書をしていたのですが、授業実時数の兼ね合いで朝学をやることはあります。小学校は今までよりも授業実数が増えましたので、一斉にやることは難しいです。</p> <p>ただ、どの学校も週に2日程度はやっていますし、読書週間もやっています。どこかの学校がやっていて、どこかの学校がやらないということはありません。</p> <p>また、読書週間は2月と6月にやりますので、このデータが、どこまで正しいかというのは難しい判断です。</p>
議長（市長）	<p>それでは10校とも読書週間や読書の習慣化には取り組んでおり、均一化されているということですね。分かりました。</p> <p>他にはいかがでしょう。</p>
教育長	<p>よろしいでしょうか。この資料のデータを見ますと、「(5) 小学校に入る前に、家で本を読んでもらった経験のある子の割合」という項目があります。先ほど家庭とのつながりという話が出ましたが、この資料の、小学校に入る前に家で本を読んでもらった経験がある子の割合を勘案すると、小中学校とも2次よりも3次の方が増えています。中学生の場合、小学校に入る前にと聞かれていますので、5、6年前のデータになります。こうしたデータを見ると、家庭でも読書が大切という意識はあると思います。</p> <p>もう一方で、「(6) どうすれば本が読まれると思いますか？」という次のページの項目では、「⑤家族で本の話をするようにする」というものがあります。この家庭での意識という点では、小学生は大変高いです。これを土台にして、「①本を読む時間をしっかりとしてあげ」たり、「②おもしろい本を紹介する」等が求められてくると思います。今回の調査を土台にして、次の計画を立てていくと、読書活動を進められるのではないかと思います。「③本の値段を安くする」というのが、小中高でどんどん上がってくることについては、図書館で借りられるように用意するのがいいのではと思います。</p>
議長（市長）	<p>ありがとうございます。</p> <p>読書活動推進員はいつも図書室にいてくださるのですよね。</p>
教育長	<p>各学校に1人いらっしゃいますが、時間が限られていますので、もっと時間を増やしてほしいとは思っています。</p>
議長（市長）	<p>それは大切ですね。企画部長はそれを覚えていてください。教育部長も要望を挙げてください。絶対それはやらなきゃいけないですね。</p>
教育長	<p>実際に推進員には本の紹介をしていただいていますので、やはり環境が整った方が図書館に子どもも足を運びやすくなります。</p>

議長（市長）	ぜひ進めていきたいですね。他にはないですか。
太田委員	お願いいたします。学校の図書室の環境について言わせていただくと、小学校では推進員の方が手厚く対応して下さって、子どもたちも満足に利用できる環境にあると思います。しかし、中学校では本は整っており、推進員の方もたくさん紹介して下さるのですが、休み時間が少なく図書室に行く時間がありません。おそらく利用率を調査するととても低いと思います。たとえば知立中学校には、素敵な本がたくさんありますが、図書室に行く時間がないため、小学校までせっかくたくさん読んでいた子たちが全然図書室を利用しなくなってしまうています。せっかく良い本があるので、そこも何か改善する方法があればと思います。
教育長	ネット上で本を検索できるような仕組み・設備を整えていただければ解決できると思います。 タブレットで検索をして、場所がわかって、図書室に行けばすぐ借りられるようになればいいと思います。今はどんな本があるのかよく分からないので、探さなければいけません。
竹内委員	検索ができれば、こういう本が欲しいという意見を学校側に言うこともできると思います。そうでないと、すでにある本の注文をわざわざ検討することにもなりかねませんから、よりスムーズになると思います。
議長（市長）	知立の図書館はバーコードで検索すれば分かりますよね。それを同じようなことを学校の図書室でもやれるようにしたらよいということですね。今知立の図書館がHPから検索できるように、学校の図書室も検索できるようになればいいという訳ですね。
教育部長	学校の図書室にも検索できるシステムはあります。
太田委員	自分のタブレットから検索できるようになればいいのではと思います。
蔭山委員	もう一つの課題として、受験があると思います。図書館の利用の用途として、受験勉強用に席をとることは非常に多いと思います。受験勉強が読書をする余裕をなくしているという側面はあると思います。これは深い問題で、そう簡単ではありませんが、受験勉強により、読書をする余裕が微塵もないように感じられます。そこを乗り越える工夫をしないと、子どもたちに過酷なことを強いることになります。 中学校はいかがでしょう。
学校教育課長	部活動をなくすと時間ができるとは思います。ただ、そうなれば次に体力の問題が出てきます。今、体力が低いということで、愛知県でも今年度また体力作りに力を入れていこうという声が上がっています。やはり学校教育は読書だけでなく、バランスよくや

	<p>らないといけないので、蔭山先生がおっしゃられるように工夫が必要になってくると思います。</p>
蔭山委員	<p>何か工夫はありますか。</p>
学校教育課長	<p>中学校は1単位時間が50分なので、45分にすれば、長放課ができて、読書のため図書室に行けるということもあるかもしれません。しかし、そうすると学ぶ質や量が圧縮されてしまうため、なかなか難しい問題であると思います。</p>
蔭山委員	<p>小学生では、私立中学校を受験する子は別として受験がないので、小学生の段階ですっきりと読書の基礎を作っておく。その後中学校で受験勉強に忙殺されても、そこが終わったら自由に読書に親しめるというプランを立てておかないと、子どもたちは全く基礎がないまま大人になってしまうように思います。</p> <p>受験という話を抜きにすると、現実から離れてしまうと思ったので発言させていただきました。</p>
議長（市長）	<p>ありがとうございます。「Q3. 1か月に1冊も本を読まなかった理由」をご覧くださいいただけますか。学校教育課長がおっしゃったように部活動の話ですが、「②部活動・クラブ活動で本を読む時間がない」は、愛知県は16.2%ですが、知立市は4.7%です。したがって、部活動・クラブ活動があるから本を読まないのではなく、読みたい本が見つからないという傾向にあると思われまます。これは、知立市は愛知県の全体と比べると、部活動が少ないということなのでしょう。</p>
教育長	<p>このアンケート結果における愛知県というのは、小中高含めてですか。</p>
文化課長	<p>Q3は小中高を合わせた全体です。</p>
教育長	<p>そうすると分析が難しいですね。知立市は小学校では部活がありませんし、高校は知立高校と知立東高校がどのような取組をしているのかが分かりません。ただ、読みたい本が見つからないというのは、逆に言うとどのような本を読んでいいのか分からないということだと言えます。単にたくさん本があればいいという訳ではないと思います。</p>
議長（市長）	<p>先ほどおっしゃってくださったように、中学校の子どもたちが図書室に行く時間がないので、本を見つけることができない。家でスマホで検索することができるようになれば少しクリアされるのかなと思いました。ぜひ一度どれだけ費用がかかるのか調べてください。学校ごとに知立の図書館のように検索等ができるシステムです。小学校は時間があるので、まず中学校で検討したいと思います。</p> <p>次の計画を作るにあたり、何か改善をしたいですね。</p> <p>他にはご意見等はないですか。</p>

各委員	(意見なし)
議長 (市長)	<p>ありがとうございました。</p> <p>アンケートは、今回のものはこれとして、今後知立市のオリジナルのアンケートを作る方向でやってみるのもいいと思いますので、皆様ぜひご協力をお願いいたします。</p> <p>オリジナルのアンケートでは、高校生や大学生を含む大人の方々向けのアンケート項目が載るようにできたらいいと思います。教育長がおっしゃったように、感性を磨くため、文字だけではなく、絵で取り組んでいる等の回答項目もあるといいと思います。情報を得るツールを選択するような項目もあるといいと思います。</p> <p>また、漫画の考え方も整理していきたいと思います。</p> <p>それでは、「児童生徒の読書について」は、以上とさせていただきます。</p> <p>次の議題の「その他」ですが、何かご意見のある方はいらっしゃいますか。</p>
宇納委員	<p>近年思っていたことですが、教育庶務課の方々には毎年一生懸命やっていたいておりますが、異動されてすぐの方だと議事録で間違いがあったり、要領がつかめないということが毎年ありました。数ヶ月すると、随分良くなってきて慣れてくるのですが、そのように慣れてきた方々が1、2年で代わってしまう辞令が近年多いように感じます。もちろん必要があるから代わるのでしょうが、できれば3、4年は在籍していただきたいと考えています。今日は企画部長や教育部長がおられますので、人事について意見をさせていただいて、特に市長はリーダーとして仕事をされる訳ですから、意図を汲んでいただけたらと思います。これは私だけかもしれませんが、議事録の精度で苦言を呈したことが過去にあります、そのような状態では困ると思います。今私が関わっている都市整備部の事業でも、新卒で入ってきた子を見ていると、初めのうちはこちらから無理難題を言うと、躊躇してなかなか動かなかったのが、やっぱり2、3年すると大変勤が良くなり動きも早くなっていきます。優秀な行政職員になっていくのが見受けられます。ただ、やはり1、2年では厳しいと思います。教育庶務課の方でも人を育て、育った方々が力を発揮できるような人事をお願いできないかと思います。先日教育長さん達と学校訪問させていただいたときは、ある学校の校長先生は4、5年同じ学校におり、ようやく自分のいろいろな想いを具体化することができるとおっしゃっていました。そのような継続性も人事では必要ではないかと思います。校長先生になって1年で辞められる方と、5、6年続けられる方とでは、やはり後者の方がいいと思いますし、地域にとってもいいと思います。行政の中でもそのような人事異動を考えていただきたいと思っています。以上です。</p>
議長 (市長)	<p>ありがとうございます。市役所はいろいろな業務があるため、教育部の方に他の部署から来たり、反対に教育部から違う部署に異動したりすることはもちろんあります。ただ、部署が変わっても、適正に法に基づいて業務をしなければいけないのは当たり前のことです。もし異動があっても、引き継ぎはしっかりなされる必要があります、そういうこ</p>

	<p>とがされてないというのは言語道断の話です。それはしっかりと間違いなくやらなければいけないと思います。</p> <p>やはり2、3年経つと仕事も慣れてきて、それまで以上に良い仕事ができるということもあると思います。そういった点も考慮して、人事の方は考えていると思っています。なお、人事のトップは副市長になります。したがって、私はどの職員がどこに異動するのかということは詳しく分かりません。ただ、長年見ている、納得でき、合っていると感じる人事になっている気がしています。</p> <p>先ほどの議事録の精度が低かったというのは、課長のチェックが甘いというしかありません。しっかりとやらないといけないと思います。職員は本当に育てていただき、人間的にも成長していると思いますので、ありがたく思っています。ただ甘えていてもいけませんので、しっかりとやることはやりたいと思っています。今後とも皆様には叱咤激励していただけたらと思います。</p> <p>人事について今いただいたご意見は副市長にも申し上げておきます。</p>
宇納委員	ぜひご検討宜しくお願い致します。
議長（市長）	ありがとうございました。他にはないでしょうか。
各委員	（意見なし）
議長（市長）	それでは事務局にお返しします。
企画政策課長	<p>今年度の総合教育会議は、これで終了となります。</p> <p>次年度の総合教育会議は、資料の最後にある「令和3年度総合教育会議日程（案）」のとおり開催する予定です。よろしくお願いいたします。</p>
議長（市長）	<p>本日はどうもありがとうございました。</p> <p>（終了）</p>